事例No.	848
公表年度	R1
団体の属性	町村
団体名	北海道士幌町

事例区分	公共施設管理

タグ	・消防・防災 ・ICT ・公共施設活用

事例種類	緊急防災・減災事業

事例内容・タイトル

避難所用Wi-Fi整備事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き

緊急防災・減災事業 ⑤

北海道士幌町（人口0.6万人）「避難所用Wi-Fi整備事業」

事業の概要

・町内最大の指定避難所である総合研修センターに固定回線をベースとする公衆Wi-Fiを整備し、災害時に連絡・情報収集が可能な環境を強化するもの。

・町の地域防災計画（H30.8改訂）に位置付け。

整備の必要性･効果

・携帯電話のインフラ網が整備され、スマートフォンやタブレット端末が活用されているなか、災害発生時の通信手段の確保が課題となっていた。

・とりわけ大規模な災害発生時には、携帯電話回線の混雑によるトラブルなど、避難者が利用不能な状態が発生する恐れがあることから、多数同時使用が可能なWi-Fiを整備。

外観



収納機器



アクセスポイント



施設の概要

・総事業費　：1.7百万円

・うち緊防債：1.7百万円

・Wi-Fi設置か所数：収納機器１か所、アクセスポイント４か所。アクセスポイントには、合計で最大200台の端末が同時接続可能。

・指定避難所は最大4,000名収容可能。総合研修センターは、体育館、武道館、ホール、和室、会議室を備えた複合施設。